

H27年度行革懇話会各班意見の検討について

No.	班名	内容	対応・関連事項
1	A班	【協働・市民参加】協働提案制度などは応募が低調である。HPで募集しているが、行政からの投げかけ・ヒントは、提案のイメージが容易になるよう、より分かり易く具体的に示されるべきである。	※第5期総合計画(平成27年10月策定) 第5期総合計画は、これからどんなまちを目指し、どのようにまちづくりを進めていくのかを示した「道しるべ」であり、多くの市民の意見や想いを取り込み、より見やすく分かり易くまとめることを第一に考え、文字よりも図表やイラストを重視して表現している。 第5期総合計画を一人でも多くの人に見ていただきたいと思い、市役所総合案内所やりんくろ、図書館、公民館、または市民アンケート対象者(3,000人)に無料で配布している。 30年後の目指すまちの姿(創造・絆・環境)の実現に向けては、「協働」を原則の1つとしてまちづくりを進めていくものであり、総合計画を見てまちづくりに関心を持ち、まちづくり活動をはじめようとする意識を高め、市民と行政がパートナーとなり、ともに支え合う関係を大切にしながら進めて参りたい。 行革懇話会からいただいた意見も参考とさせていただきます。
2	A班	【協働・市民参加】制度面が充実していても、それを周知しなければ活用されない。もっとPRの工夫をすべきである。	
3	A班	【協働・市民参加】市民がより参加・提案しやすいようにしたい。「手続きが難しいのでは？」というイメージがある。煩雑な手続きを軽減したり、専門的な表現を避けるなど、表現を平易にしてPRに努めるべきである。	
4	A班	【協働・市民参加】市民目線での表現が必要である。内容に関しては必要なものは盛り込まれているが、平易な表現(イメージやイラスト)にして、もっとシンプルに明示して欲しい。	
5	A班	【協働・市民参加】そもそも「協働提案制度事業」という事業の存在自体、PR不足で市民の認知度が低いのではないかな。	
6	A班	【協働・市民参加】「いしかりまちづくりディスカッション2013」のような、革新的な良い取り組みをもっとPRし、続けて実施するべき。	
7	A班	【協働・市民参加】市民は情報をネット(個人の書き込み、ブログなど)で得ていることが多い。しかし市のHPの利用度は決して高くはない。アカウントを増やす工夫をすることや、民間の手法(色使いやコメント、イントロで惹きつける)を参考にする	
8	A班	【協働・市民参加】2次的な広がり(参加者が代わって、ブログなどで発信すること)もある。	
9	A班	【協働・市民参加】各種計画の次の作定時においても市民の声をもっと聞ける工夫をし、市民の声を反映し、また、計画の趣旨が継続するようにするべきである。	☞P13 まちづくりの進め方～協働は、目指すまちの姿の実現に向けた原則のひとつ ☞P29 戦略目標の実践のためのプロセスとアイデアカード～戦略目標の実現に向けた協働の実践は、時代やニーズに即して、市民・事業者・行政が議論し、様々なアイデアを考え、実践していく。 ☞P45 行財政「26 協働・市民参加」～前総合計画からの課題:市民参加の拡大 ☞P21 戦略目標2「いしかりの子育て力をさらに発揮する」～地域の大人と子ども、子育て家庭と地域のつながる機会を増やすことを目指している。
10	A班	【協働・市民参加】ライフサポートのように、事業を市民独自で行うよりも、市職員と協働(手助け)があると、より充実した内容にするが出来ることを念頭に継続するべきだ。	
11	A班	【協働・市民参加】具体的には、ターゲットを絞って直接働きかけることが有効である。たとえば、子育てを行っている若い母親が、意見交換できる母親サロンのような場を設定すると、若い世代の石狩への移住にもアピールできると考える。	
12	A班	【協働・市民参加】若い世代が参加したくなるようなイベントの企画を行うべきである。そのためには、若い世代の興味のある事柄(トレンド)の調査研究も必要。	
13	A班	【協働・市民参加】子育てサロンと高齢者サロンを融合させ、安心して子育てが出来る環境づくりを行うなど、既存の活動を連携させる取り組みが必要である。	
14	A班	【行政に期待すること】行政が様々な努力を行っていることを、一般市民は知らないことが多い。また、石狩市の良いところのPRを活発に行うべきである。	☞総計P18「石狩PRIDE」●いしかりを全国にPRできるものがほしい。 ☞総計P18 アイディアカード「いろんないしかりの顔をつくる」特産品や観光資源の発掘、発見、創造、PR ☞総計P23 戦略目標3「いしかりの資源からモノやしごとを創り出す」～【戦略目標のねらい】●いしかりならではの新たな産業、地域ブランドを創出する ☞総計P25 戦略目標4「いろんないしかりの顔をつくる」～まちの中心核やまちの顔となるイメージが弱いといった面が見られます。 ☞総計P38 産業12「農林水産業」～地場農産物の市外PR展開 ☞総合戦略P26 戦略目標6「時代にあった地域として持続する」～(7)将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進:市民が「住み続けたい」と思うまちであり続けるとともに、市外からも「住みたい」と思われるようなまちとなるために ☞総合計画がまさに30年先を見据えた計画であり、ミッション・ビジョンを示している。
15	A班	【行政に期待すること】市側の仕組みづくり、豊富な情報提供が求められている。	
16	A班	【行政に期待すること】わかりやすいビジョン提示、イメージ戦略が必要である。	
17	A班	【行政に期待すること】新たな観光資源の創造、石狩の名所とは?	
18	A班	【行政に期待すること】「これ」というものがないのが弱点。特徴を出し切れていない。	
19	A班	【行政に期待すること】いしかりバーガーやライジングサンでのWESSが、石狩の成功事例であるが、民間に学ぶところは学び、もっと行政が主体的に牽引すべき。	
20	A班	【行政に期待すること】市民はなかなか声を伝えられない。現場の声を聴く場として、町内会など、小単位のグループに市職員を交え話し合える場を設定すべき。	
21	A班	【行政に期待すること】3年前に女性連絡協議会の全道総会を開催した際に、直接市長にピアノの手配を陳情したところ、最終的に市長の総会出席に繋がって大変感激したエピソードが披露されたが、地域に話したいことがあるときに聞いてもらえる、気軽に聞ける窓口が必要。	
22	A班	【行政に期待すること】「市役所コンシェルジュ」のような職員の配置があれば良い。昨年度の懇話会でも再任用を使ったコンシェルジュについて提案されたが、ネット、電話や直接対応ができるものを配置すると市の印象も変わる。	
23	A班	【行政に期待すること】長期的な視野に立った指針・ビジョンを提示すべきである。	

24	A班	【改善希望】街路樹などの花壇の整備を計画的に実施して、町内会による差をなくすなど、行政との連携の具体例を紹介すべき。	☞総計P45 行財政26「協働・市民参加」～少子高齢化や人口減少社会において、存続が難しくなっている町内会組織をはじめ、市民レベルのまちづくり活動に対する支援・育成を推進します。
25	A班	【改善希望】各地域の交通アクセスについて～難しい課題だが、継続的なアイデア、意見交換を。	☞総合戦略P25 戦略目標6「時代にあった地域として持続する」～(3)時代・地域に即した交通体制の推進：デマンド交通の導入、地域特性・利用者ニーズを踏まえた運行形態の改善や新たなバス利用システムの導入等について検討する。
26	A班	【改善希望】70歳以上の温泉バスを65歳以上にしてほしい（浜益温泉へのバス対象者の見直し(有料も含めて)）	
27	A班	【改善希望】深層まで行かないと見えないHP(わかりやすいHPの工夫)	
28	A班	【改善希望】書類の簡素化(書類など手続きの簡素化)	☞分かりやすいHPや書類の簡素化などは、実施計画の取り組みとして今後も継続して検討する。
29	A班	【改善希望】移動販売車の継続(厚田・浜益地区)(全市的に買い物難民を失くす工夫)	☞総計P18 アイディアカード「新現役世代がいしかりで活躍する」～生活支援(買い物等)
30	A班	【改善希望】空き家をどうするか？(継続的な空き家対策)	☞総合戦略P25 戦略目標6「時代にあった地域として持続する」～(2)民間ストックの活用促進による地域活性化：市内の空き家を活用した移住・定住の促進や、カフェ、サロンなどコミュニティビジネスの創業支援を図る。
31	A班	【不満】郷土の歴史を見つめよう(石狩川を中心とする歴史を知る)	☞総計P9 目指すまちの姿(将来像)【創造】～歴史・文化が市民に脈々と受け継がれ、地域への愛着につながり、市民が新しい産業や魅力、価値を創造するまちを目指します。
32	A班	【不満】交通アクセス(交通アクセス(LRT))	☞総合戦略P25 戦略目標6 時代にあった地域として持続する(3)時代・地域に即した交通体制の推進 (具体的な事業)市街地におけるバスロケーションシステム等の導入検討
33	A班	【不満】家族で楽しめる施設	☞総合戦略P17 戦略目標4「いろんな顔をつくる」～(1)観光資源を生かした交流人口の誘導。「石狩の海辺の魅力」を創造し、誘客を図る。 ☞総合戦略P18(2)中山間・過疎地域における多機能・統合型交流拠点の形成。道の駅を核とした地域資源を活かした魅力づくり。KPI:道の駅入込客数15万人
34	A班	【不満】地域の実態・状況を細かく把握してほしい(厚田地区の医療バス停留所の改善)	☞総合戦略P25 戦略目標6 時代にあった地域として持続する(3)時代・地域に即した交通体制の推進 (具体的な事業)市街地におけるバスロケーションシステム等の導入検討 具体的な施策・事業を回答する。
35	A班	【不満】移住者を増やすには？(カフェ、レストランが増えている。移住者へのメリットは?)ターゲットを絞って。手当など、メリットを。他の自治体から盗む、恵庭 花の街、北広島 コストコ・三井など。	☞移住者を増やすことも大切だが、まずは今住んでいる人に「住み続けたい」と思ってもらうことが大切(総計P9)。 ☞総計P25 戦略目標4「いろんな顔をつくる」～戦略目標のねらい●観光や移住など新たな人の動きをつくる ☞総合戦略P20戦略目標5「誇りとなる「人や文化」を育てる」～「(6)移住・定住の推進」：移住希望者に対するワンストップサービスの強化や、空き家活用促進事業等を実施し、本市における魅力ある豊かな暮らしを創出できるよう、関係機関等との連携を進め、移住・定住の促進を図る。

36	B班	【市役所に期待すること】窓口業務は土曜日半日受付を希望	☞りんくるの窓口ワンストップ化やフレックスタイム実施可能部署の検討を進める。
37	B班	【市役所に期待すること】窓口でのワンストップサービス	
38	B班	【市役所に期待すること】気軽に相談できる窓口の体制	
39	B班	【市役所に期待すること】窓口職員のフレックス化	
40	B班	【市役所に期待すること】再任用職員が少し早く出勤する	
41	B班	【市役所内部(安心して暮らせるまちづくり)】人に優しい	☞総計P18「絆」にもあるとおり、優しいまちづくりを市役所も一体となって進めたい。 ☞他市在住職員については、職員採用の際の確認と、「職員地域協働指針」に基づく奨励をこれまで同様に継続する。
42	B班	【市役所内部(安心して暮らせるまちづくり)】他市在住の職員への対策が必要	
43	B班	【市役所内部(安心して暮らせるまちづくり)】市役所は生活・生きる事の応援者(安心して暮らせるまちづくり)	
44	B班	【当事者の身になった企画・施策】当事者の身になった企画・施策	
45	B班	【当事者の身になった企画・施策】市民との意見交換会など対話の機会を作る	
46	B班	【当事者の身になった企画・施策】冬道のことを考え道路の整備を	☞総計P13Iにもあるとおり、「目指す町の姿の実現に向け、協働や連携などを原則としてまちづくりをすすめる」としている。 ☞総合戦略P7 戦略目標1『新現役世代』が活躍する」～(3)地域課題を解決する地域ネットワークの構築 ☞総合戦略P26 戦略目標6「時代にあった地域として持続する」～(7)将来にわたって暮らしやすいまちづくりの推進(団連と年1回意見交換し、新港地域の要望等を伺っている)
47	B班	【当事者の身になった企画・施策】新港地域の要望を汲み取る機会を	
48	B班	【高齢者】新たな取り組みには高齢者に優しい行政を(マイナンバーなど。親切にすべき)	
49	B班	【高齢者】一人暮らしの高齢者対策	☞総計P36福祉8「高齢者福祉」にある【個別計画】などを踏まえ、支援体制や環境の整備に努める。
50	B班	【高齢者】新たな取り組みには高齢者に優しい行政を(マイナンバーなど。親切にすべき)	
51	B班	【セキュリティ】職員のセキュリティ教育は毎年必要	☞毎年定期的に職員研修を行い対応
52	B班	【セキュリティ】各部のパソコンのセキュリティ対策	
53	B班	【楽しみが感じられるまちづくり】人口増に関する施策を考える	☞人口増に関する施策を考える⇒総合戦略(全て)総合戦略P1:(1)総合戦略に掲載した、今後5カ年の基本目標や具体的な施策等を展開し、本市における人口減少の緩和と地域経済発展性の向上、将来にわたって持続性の高い地域社会の構築を目指す。 ☞総計P36 戦略目標4、総合戦略P17「いろんないきりの顔をつくる」:自慢できる石狩の魅力育てる、観光や移住など新たな動きをつくる。
54	B班	【楽しみが感じられるまちづくり】若者を呼び込むサービス	
55	B班	【楽しみが感じられるまちづくり】石狩に暮らしたい	
56	B班	【楽しみが感じられるまちづくり】楽しみが感じられるまちづくり	
57	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】2割のプラスアルファ	☞外部研修会社と検討し、2月2日「タイムマネジメント研修」を実施。業務改善研修については、新年度も変更を加え実施したい。
58	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】一つに振り回されない目線	
59	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】お金には限りがあるとの発想と自覚	
60	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】限られた時間で業務を行うには	
61	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】することとしないことの選択	
62	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】一つのことには振り回されない	
63	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】作業の単純化	
64	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】8割のマニュアル化(2割はマニュアルにできない仕事があることを認識)	
65	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】引いた目線でとらえる仕事内容	
66	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】作業の棚卸し	
67	B班	【職員が楽しくなる仕事の仕方・考え方】言われる作業と納得作業(意識改革)	

68	B班	【まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】まちの再構築の指導(中心地が何処か分からない)	☞総計P25 戦略目標4「いろんないしかりの顔をつくる」～背景にあるとおりで、まちの魅力や地域の特徴を発見し、いしかりの顔として育てあげることとしている。
69	B班	【まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】市民が気軽に集まれる場所を	☞総合戦略P19 戦略目標4「いろんな顔をつくる」～(5)地域の魅力や可能性を活かした賑わいづくり:新たなまちの賑わいづくりを推進する。
70	B班	【まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】高齢者が集まれる場所がない	☞総合戦略P6 戦略目標1「新現役世代が活躍する」～(1)高齢世代の仲間づくり・交流機会の提供:高齢者の外出の機会を創出するとともに、仲間づくりや社会参加の促進を通じて生活の充実を図る。
71	B班	【楽まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】子どもの遊び環境がない	☞総合戦略P19 戦略目標4「いろんな顔をつくる」～(5)地域の魅力や可能性を活かした賑わいづくり:交流拠点の形成、「まちづくりサロン」の企画検討
72	B班	【まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】大通公園のような集まりやすい場所を作る	☞総計P16:③市民目線での行政経営のしくみ
73	B班	【まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】気軽な町内会館の開放	・まちづくりを進める上で、市民が考え、自発的に進める取組などがしっかり実践につながるしくみを大切にする。また、協働の視点のもと、行政経営に市民の声が反映される市民目線でのまちづくりを進めたい。
74	B班	【まちの再構築(ハード)と気軽に参加する仕組みのプランニング(ソフト)】参加する仕組み(知っている人と新しい人が意見交換できる仕組み)	・市民・事業者・行政がともに考え、様々なアイデアを提案できるしくみをつくり、30年後の目指すまちの姿(創造・絆・環境)の実現に向けて取り進めて参りたい。
75	B班	【ご当地グルメが一堂に食べられる場づくり(マルシェ的な共同運営会社)】自分で食べられる環境	☞総計P30 アイデアカード”いしかりマルシェ” ●企画、運営から市民や地域住民の手で実施、周りの人を呼び込みながら実施
76	B班	【ご当地グルメが一堂に食べられる場づくり(マルシェ的な共同運営会社)】子どもの食べることへの関心を高める	☞総合戦略P13 戦略目標3「『地域資源』からモノやしごとを創る」～(2)「石狩ブランド」の推進:地産地消を推進し、地元農水産物に対する意識や理解を深めるため、学校給食における地場産品の積極的な活用を図る。
77	B班	【防災を特別視しない】災害時の情報発信	☞総計P33 暮らし2「消防・防災」
78	B班	【防災を特別視しない】防災備蓄を食の観点から	
79	B班	【防災を特別視しない】冷凍・簡易クッキング	
80	B班	【防災を特別視しない】マルシェで保存食を食べる。賞味期限前に販売する場が欲しい(もへじ?)	
81	B班	【外から人を呼ぶ】バスで札幌から呼び込むツアー	☞総計P30 アイデアカード”市民によるいしかり発信” ●美しい景色やすばらしい資源を市民や海外客に発信、HPで発信・動画コンテスト ☞総計P30”市民バスツアー・まち歩き” ●市民がいしかりを知るためのバスツアーやまち歩きを実施(歴史や漁業、農業体験など) ☞総計P30”食の魅力づくり” ●海産物のピザなどで北海道のイタリアとしてプロモーション ●エゾシカを資源に鹿肉ジビエ ☞総計P39 産業14「観光」～美しい自然景観や豊富な食材、地域固有の文化・歴史など恵まれた地域資源を活用して、市民や関係機関の連携により、石狩市の観光スタイルの開発や確立を推進し、魅力ある観光地づくりや観光で地域が潤う仕組みの構築を進めます。
82	B班	【外から人を呼ぶ】新幹線来道客を札幌、小樽に行かせず、石狩に呼び込む	
83	B班	【外から人を呼ぶ】石狩は北海道発祥の地	
84	B班	【外から人を呼ぶ】歴史を掘り起こして、目を向けたい。歴史を活かした商品作り	
85	B班	【外から人を呼ぶ】外から見た観光の見せ方→ご当地グルメ	
86	B班	【外から人を呼ぶ】歴史あるまちとしての観光スポット、グッズ	
87	B班	【外から人を呼ぶ】石狩の海岸線に沿った見せ方を今から準備すべき	